

<b>Syllabus Id</b>	Syl-130-389(嶋教員)		
<b>Subject Id</b>	Sub-130-208710		
<b>更新履歴</b>	2013.3.22 新規		
<b>授業科目名</b>	エレクトロニクスセミナー	Electronics Seminner	
<b>担当教員名</b>	西村 賢治	NISHIMURA Kenji	
<b>対象クラス</b>	電気電子工学科 4 年生		
<b>単位数</b>	1 履修単位		
<b>必修 / 選択</b>	選択		
<b>開講時期</b>	集中講義		
<b>授業区分</b>			
<b>授業形態</b>	講義		
<b>実施場所</b>	主としてホームルーム		
<b>授業の概要</b> (本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
<p>本科目は、電気電子工学の分野におけるキャリア形成を助けるためのものである。          大学における先端情報や、企業活動の状況を紹介すると同時に、これまで学んできた知識を基に、自らが電気電子工学を更に深めるのに欠けていることを自覚し、それを習得するのに必要なことを考える。          サブテーマ毎に、そのテーマにふさわしい方に講師をお願いすることがある。</p> <p>なお、大枠は計画に沿って進めるが、外部講師へのお願いはこれからであるため、計画と同一の進み方になるとは限らない。</p> <p>この科目について必要な時間数の出席とレポート等の提出があれば単位として認める、この科目を履修しない学生が、自分に興味のある回のみ授業に関して、前もって希望を表明すれば、授業の妨げにならない範囲で参加を認めることがある。また、重要な項目の授業の場合は、履修希望の有無にかかわらず、クラス全員の参加を求めることがある。</p>			
<b>準備学習</b> (この授業を受講するときに前提となる知識)			
電気電子工学科の基礎知識および応用知識			
<b>学習・教育目標</b>	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
<b>学習・教育目標の達成度検査</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。</li> <li>プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。</li> <li>目標達成度試験の実施要領は別に定める。</li> </ol>		
<b>授業目標</b>			
<p>与えられたテーマについて理解した上で、その要点を適切にまとめることができること。          与えられたテーマについて理解した上で、議論ができること。</p>			
<b>授業計画</b> (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)			
<b>回</b>	<b>メインテーマ</b>	<b>サブテーマ</b>	<b>参観</b>
第 1 回	オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、評価方法と基準等の説明	
第 2 回	大学研究	大学教授を招き、大学についての説明を聞く (大学における研究)	
第 3 回		大学の特色(1)	

第4回		大学の特色(2)	
第5回		高専卒・大卒・大学院卒の仕事(1)	
第6回		高専卒・大卒・大学院卒の仕事(2)	
第7回	企業研究	インターンシップ報告会	
第8回		講義：就職状況について	
第9回		講義：業種研究	
第10回		講義：職種研究	
第11回		企業の方を招き，企業についての説明を聞く(1)	
第12回		企業の方を招き，企業についての説明を聞く(2)	
第13回		企業の方を招き，企業についての説明を聞く(3)	
第14回		企業で活躍するとはどういうことか	
第15回	まとめ	まとめと討論	
		以上15回	
		なお，学校主催のキャリア教育を授業とすることがある。	
			×

### 課題とオフィスアワー

講義の内容をまとめ，1週間以内に授業担当教員に提出する。提出されたレポートは，学科のホームページで公開することがある。

提出場所は教員室

オフィスアワー：担当教員から指示する。

### 評価方法と基準

#### 評価方法

7回以上のレポート提出を課す。

課題は，基本的に「講師の話や講義の内容を，正しく理解したうえで，自分の考えを入れながらまとめる」報告になっているかどうかで評価する。

単にまとめただけであって自分の意見が入っていなかったものや，自分の考えばかりで人の話を曲解しているものは，減点することがある。

レポートが1通でも足りないものは，不合格とする。

#### 評価基準

学校指定の履歴書を想定し，実際の進路のための試験用に提出できる質を持って合格とする。

教科書等	授業時にプリントを必要に応じ配布する
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。</li> <li>2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。</li> <li>3. 基本的に，2週間に一度の授業を1年間実施行う。</li> <li>4. 途中から就職希望者と進学希望者を分ける可能性がある。</li> </ol>